

第3回 美濃桃山陶の聖地 かに窯めぐり

美濃桃山陶の聖地で、桃山時代の陶工たちの息遣いや足跡を感じながら作陶する現代の陶芸家の皆さん。何を目指し、作陶に励んでいるのが、窯めぐりを通じて、感じてみませんか。

かに窯めぐりは、市内で活躍している窯元を探访する企画です。6月に続き、今回が3回目の開催となります。

約400年前の桃山時代の茶陶文化を今に受け継ぐ陶芸家による、美濃桃山陶の聖地にふさわしい内容で、参加者からは大変好評です。さらに他の窯元

も訪れたいとの感想も寄せられています。

今回の窯めぐりでは、作陶工房での制作実演見学や絵付け体験、釉薬の配合体験など、日頃出会えない時間を楽しんでいただけます。陶芸家ならではの興味深いエピソードにあふれています。



【前回の窯めぐりの様子】

- ①焼き物に使うもぐさ土を実際に手に取って、加藤弥右衛門さんの解説に聞き入る参加者
- ②青山晃大さんの解説を聞きながら、たたら成形の技法を体験する参加者

申込方法 希望する期日(次ページを参照)、氏名(3人まで)、住所、電話番号を明記し、各期日につき1枚のがきで申し込む
 申込締切 10月21日(金) 消印有効
 ※応募者多数の場合は、10月24日(月) 午前10時に市役所3階観光交流課で公開抽選を行います。

記入方法

裏面	表面
・希望する期日 (代表者) ・氏名 ・住所 ・電話番号 (代表者以外) ・氏名(2人まで) ・住所 ・電話番号	509-0292 (住所不要) 可児市役所 観光交流課 かに窯めぐり担当宛

問合せ 観光交流課

11/2 (水) 午後2時~4時

内容 美濃桃山陶の釉薬配合など 募集人数 5人
 参加費 5,000円 集合場所 荒川豊蔵資料館駐車場

黒岩 達大



黒岩達大さんは、陶芸家の好本宗峯さんに師事した後に独立。久々利大平で、主に織部を中心に作陶しています。
 植物の生命力あふれる深い緑色と上へ上へと伸びていく成長を力強く表現した作品が特徴で、昨年の美濃陶芸展や東海伝統工芸展では最高賞を受賞しました。
 当日はなかなか体験できない、自分だけの釉薬の配合など、オリジナルの黄瀬戸や織部づくりに挑戦できます。
 美濃桃山陶の奥深さを体験してみませんか。



白土と赤土の素地と釉薬の試作品

11/17 (木) 午後1時~3時

内容 制作実演見学、絵付け体験など 募集人数 5人程度
 参加費 5,000円 集合場所 荒川豊蔵資料館駐車場

瀧口 大喜



久々利大平で美濃桃山陶の伝統技法をベースに、主に織部を手掛けている瀧口喜兵衛さんと長男の大喜さん。
 今回も手回しろくろやたたらでの制作実演の見学、絵付け、高台削りなど、日頃体験できないぜひたくて楽しい時間を過ごせます。



美濃桃山陶の歴史を語る瀧口喜兵衛さん

11/29 (火) 午後2時~4時

内容 たたらで作る黄瀬戸の菊皿 募集人数 5人程度
 参加費 5,000円 集合場所 荒川豊蔵資料館駐車場

山下 幾太郎



山下眞喜さん、幾太郎さん親子は、久々利大平の自然豊かな環境で作陶に励んでいます。
 当日は、石ころの菊皿型にたたらを押し付けて成形し、竹串で線刻して黄瀬戸の菊皿を制作します。
 豊かな自然の中でお茶などをいただきます。



お茶のお点前をする山下眞喜さん